

積算資料 建設資材価格指数

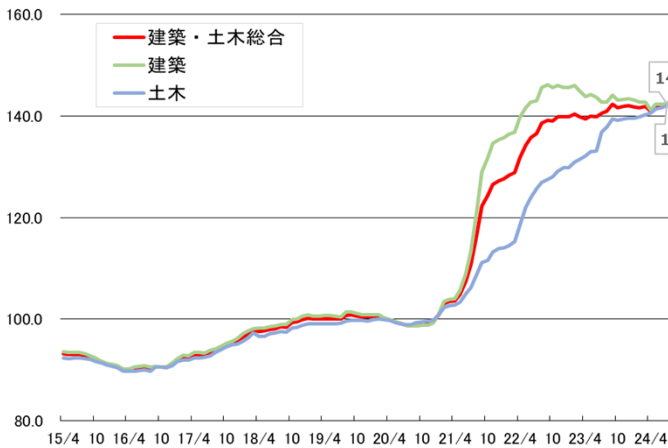


一般財団法人 経済調査会 経済調査研究所

建設資材価格指数は、建設工事で使用される資材についてその価格変動を総合的に捉えることを目的とした指数です。年々変化する建設工事の内容に対応した総合的な価格変動を表す総合資材価格指数として、価格変動に係わる資料や効率的な資材確保の資料等としてご利用下さい。

指数の推移（2024年7月調査）

全国・2020年度平均=100



	当月指数	前月比	前年同月比
建築・土木総合	142.3	+0.2	+1.8
建築	142.5	+0.1	-0.2
土木	142.0	+0.4	+5.2

指数の詳細な計算結果はこちら
<https://www.zai-keicho.or.jp/service/build/price/>



部門別 主な指数の動き（主要10都市）

	前月比 プラス	前月比 マイナス
建築・土木総合	<ul style="list-style-type: none">●コンクリート二次製品：+9.2福岡、+2.4広島、+0.1札幌・東京●骨材：+7.0東京●再生アスファルト混合物：+8.0札幌、+4.9仙台●普通鋼鋼材：+0.6札幌、+0.5大阪	<ul style="list-style-type: none">●瀝青材：-1.4札幌・仙台・新潟、-1.3広島、-1.2名古屋・高松・福岡、-1.1大阪、-0.9東京●木材：-2.7高松
建築	<ul style="list-style-type: none">●コンクリート二次製品：+13.1福岡、+0.1札幌・東京●骨材：+7.5東京●再生アスファルト混合物：+8.0札幌、+4.9仙台●普通鋼鋼材：+0.8札幌、+0.6大阪	<ul style="list-style-type: none">●木材：-2.7高松
土木	<ul style="list-style-type: none">●コンクリート二次製品：+5.5広島、+3.1福岡●骨材：+6.0東京●再生アスファルト混合物：+8.0札幌、+4.9仙台●普通鋼鋼材：+0.5札幌、+0.4大阪	<ul style="list-style-type: none">●瀝青材：-3.0東京・名古屋・大阪・広島・福岡、-2.9仙台・新潟・高松、-2.7札幌

指数集計対象資材の市況

7月調査に基づく建設資材価格指数は、建築・土木総合が3カ月連続で上昇。前月比では+0.2ポイントの142.3となった。骨材価格が輸送費の上昇等を要因として東京地区で一段高となるなど、主要建設資材が総じてじり高で推移し、総合指数は昨年9月以来の最高値に並んだ。また、土木指数は前月比+0.4ポイントで過去最高を更新。建築指数を上回る伸びとなり、両指数の差は0.5ポイントまで縮まった。この格差は直近3年間で最も小さく、2021年のウッドショックの影響により急伸した建築指数に土木指数が追いつきつつある状況となっている。依然として骨材は強含みで推移しており、7月調査では下落した瀝青材も先行き気配は原油相場の騰勢を背景に強含みに転じている。そのため、指数は今後も緩やかな上昇が続くとみられる。

指数に関するお問い合わせ先

一般財団法人 経済調査会 経済調査研究所 研究成果普及部 普及推進室 TEL.03-5777-8212